

# 2016年の回顧と2017年の展望

景気回復に向けて、いま為すべきことは？

運輸サービス部会 細谷 浩司

2017年2月23日

# 運輸サービス部会の対象業界

- 物流
- 海運
- 航空貨物
- 航空旅客
- 旅行、ホテル
- 通信、IT



# 物流業界

## 2016年回顧

- 年内に税関ストライキが収束せず、輸出入に支障。
- 輸出入貨物の木材規制強化(ISPM準拠)の開始。
- オリンピック開催による輸送需要は増えるも物流影響少。



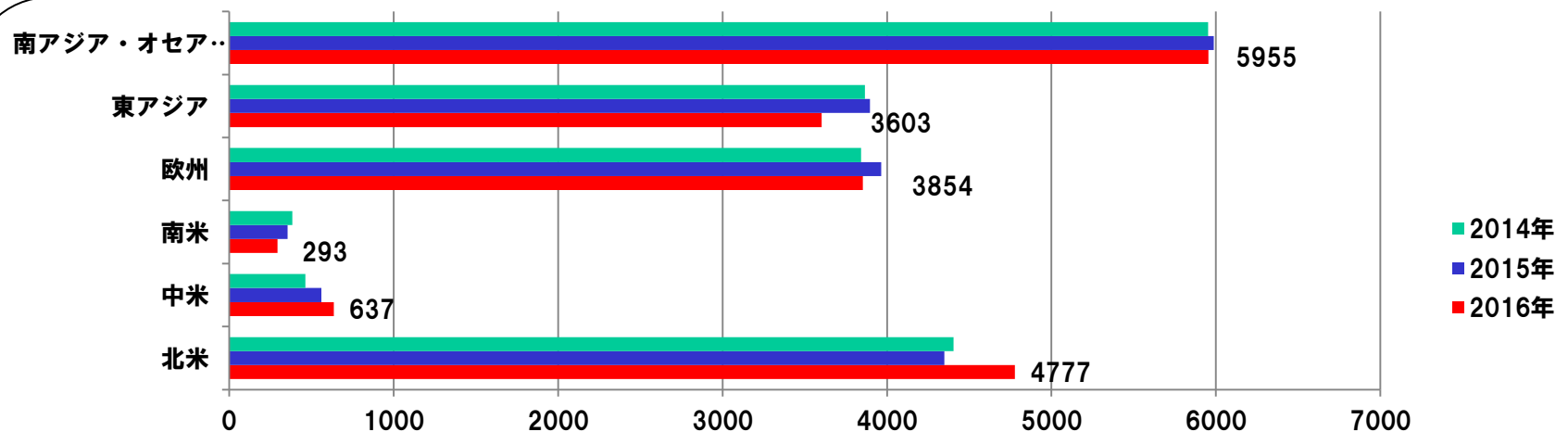
## 2017年展望

- 1月に税関ストライキは収束。本年もストライキ動向に注視が必要。
- 駐在員数の減少傾向は2017年中も継続する模様。

日本発 各地域向け船便引越件数動向

(単位 発送件数)

資料提供：日本通運



# 海運業界

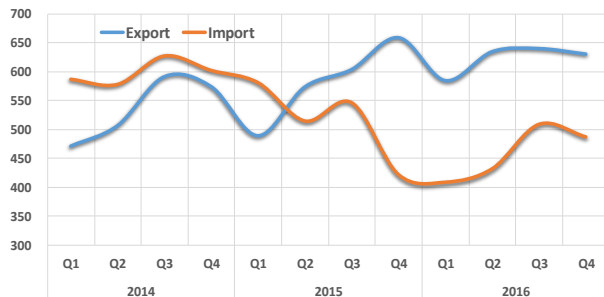
## 2016年の回顧

- ・ 中南米コンテナ航路は需給バランス改善により運賃は回復。主要コンテナ船社の合従連衡が進む。邦船3社のコンテナ・ターミナル部門も2018年4月より統合される予定。
- ・ 完成車輸送は資源国向けが不調。ブラジルは輸出が輸入を大きく上回る。
- ・ ドライバルク輸送は2016年後半に底を打ったものの引き続き厳しい市況が続いている。
- ・ 2016年のタンカー市況は前年比30-40%減で推移。
- 輸出コンテナ総重量証明の義務化 (SOLAS条約改正) 開始。

## 2017年の展望

- コンテナ輸送は新造船の供給圧力が強い。南米東岸航路は需給がバランスし運賃水準は安定か。
- 完成車輸送は資源国向けが引き続き低迷か。ブラジルの輸出超過も続く。
- ドライバルク輸送は中国の市況牽引力には疑義あり、市況の回復も穏やかなものとなろう。
- タンカーはOPECの減産合意次第なるも2017年も市況は弱含みで推移するのでは。

ブラジル コンテナ輸出入推移 (2014-2016 / 千TEU)



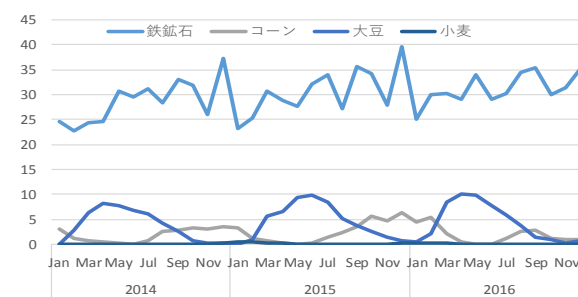
出典 : Dataliner

ブラジル 完成車輸出入推移 (2014-2016)



出典 : Carta da Anfavea

ブラジルバルク貨輸出入推移 (2014-2016 / 百万ト)



出典 : IHS社のGTA (Global Trade Atlas®)

# 航空貨物業界

## 2016年回顧

- 主要3空港での比較(GRU,VCP,MAO)※1-12月実績比較

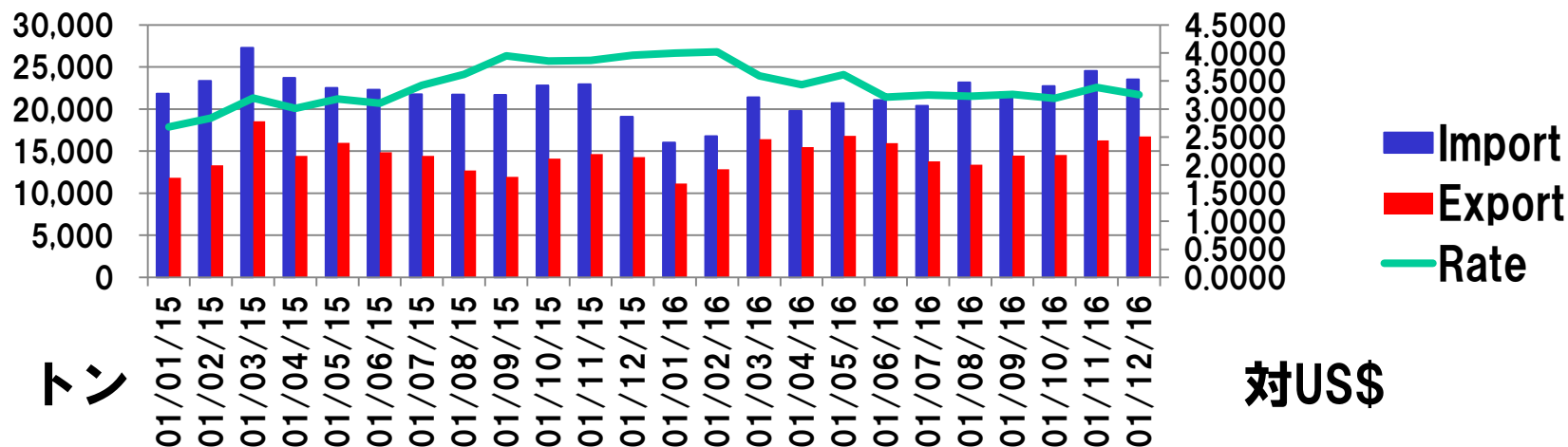
輸入量は対前年同期比 6.9 %減

輸出量は対前年同期比 3.9 %増

## 2017年展望

- 全体の輸出量増加に伴う航空貨物需要増への期待。
- 航空会社路線撤退（便数削減）、輸出貨物の需要増によるスペース不足の懸念。

## GRU,VCP,MAO 3 空港 航空貨物輸出入取扱数量&為替動向（単位：トン、対US\$）



（出典：GRU AIRPORT CARGO,VCP AEROPORT ,INFRAEO CARGO）

# 航空旅客業界

## 2016年回顧

- 国内線は、有償旅客キロ＝対前年▲5.68%、提供座席キロ＝同▲5.91%で、近年にない前年割れの実績となった。
- 国際線は、ブラジル系航空会社計で、有償旅客キロ＝対前年▲0.27%、提供座席キロ＝同▲3.07%となり、利用率は+2.3pt上昇したものの、需給調整による規模減が進んだ。
- 利用率低迷の打開策として、航空会社間で廉価な運賃での営業競争が激化し、旅客数の減少以上に収益は悪化した。

データ引用元: ANAC

## 2017年展望

- 国内線は、LATAM航空やGOL航空の業績悪化により、引き続き両社とも低需要路線・便を中心に運休・減便する可能性が高い。
- 国際線は、ブラジル地方都市発着路線の運休・減便で、渡航者数は減少もしくは横這いになると思われる。

## 特記・周知事項

- 2016年末までに各社の運休・減便は一旦終息したが、中東系航空会社の動向如何では今後の運賃変動が激しくなると予想される。
  - エティハド航空: 3月26日～ サンパウロ＝アブダビ線運休
  - エミレーツ航空: 3月26日～ サンパウロ＝ドバイ＝成田線を機材大型化(A380投入)
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ブラジルからの訪日旅客数を如何に増大させるかが課題となっているが、そのためには、スポーツや経済だけでなく、文化・教育・芸術等の様々な分野でブラジル＝日本間の交流活発化と相互理解が必要である。

# 旅行・ホテル業界

## 2016年回顧

	2015第1～3 四半期		2016年第1～3四半期		比較	
	売上高（千）	発券枚数	売上高（千）	発券枚数	売上高	発券枚数
国内線航空券	R\$ 3,297,424	5,629,340	R\$ 2,962,850	5,236,534	-10.1%	-7.0%
国際線航空券	R\$ 2,571,100	726,745	R\$ 2,285,376	644,304	-11.1%	-11.3%
ホテル	R\$ 1,682,930		R\$ 1,484,781		-11.8%	

## 2017年展望

出所: ABRACORP

- 長引く景気低迷により、企業は経費節減のため出張を減らす傾向にあり、個人は失業などへの不安から個人旅行、特に海外旅行を控える傾向にある。
  - 2016年はリオでオリンピックとパラリンピックという一大イベントがあったので不景気にも関わらず、年間を通した売り上げはあまり落ち込まずに済んだが、2017年は大きなイベントがない。
  - 米国のトランプ大統領の入国規制政策によりブラジル人の米国への渡航がさらに減少することが危惧される。
  - 2017年3月25日をもってエティハド航空がサンパウロ路線を廃止するが、エティハド航空撤退により運賃が高騰することが懸念される。
  - 昨今の治安悪化、黄熱病の流行などにより、日本からブラジルへ来る観光客が激減することが懸念される。
- ⇒ 旅行業界にとっては2016年以上に厳しい年になることが見込まれる。一方、ホテル業界は2017年は効率・生産性・創造性を優先した少額投資の期待から緩やかな市場の回復を見込んでいる。

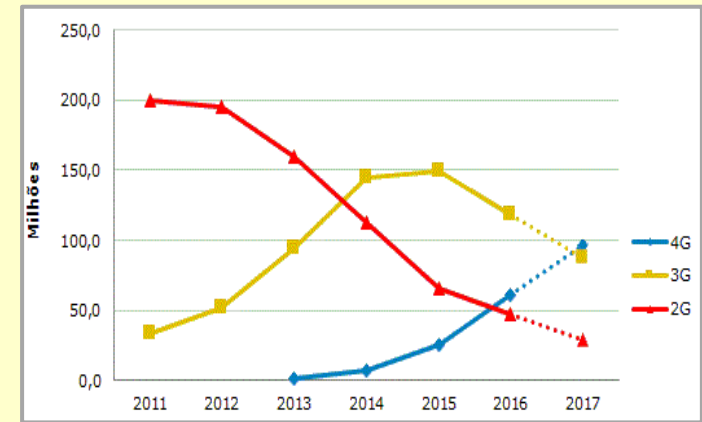
## トピックス

- 今年の3月14日より、ある一定数量まで無料だった受託荷物を航空会社が有料で預かることができるようになる。
- 黄熱の予防接種証明書（イエローカード）の有効期間について、2016年7月11日以降は、これまでの「接種10日後から10年間」から、「接種10日後から生涯有効」へと変更された。

## 2016年回顧

- 全体的な契約者数は、長引く景気低迷の影響に加え、キャリア間の接続料金引下げに伴う複数SIM保有者の減少より、前年より約1,400万減少。
- 4G契約数に関しては、2Gと3Gからの移行が順調に進んで、前年から約3,500万増加。ブラジル市場の25%を占める。

	2016年 [単位: 万]	前年比
携帯電話契約数 (全体)	24,407	▲5.3 %
4G	6,010	+36.2 %
3G	11,910	▲20.1 %
2G	4,762	▲27.8 %
データカード等	1,725	▲0.1 %



出典]Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

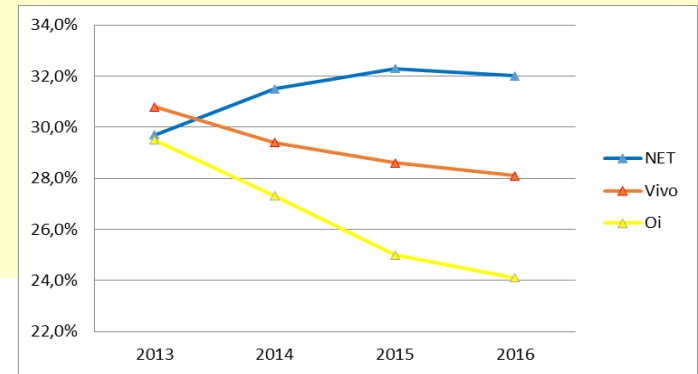
## 2017年展望

- 4Gへの移行は更に加速し、年内に3Gの契約数を超える見通し。
- IoT/M2Mに関しては、狭帯域・低電力化に対応したNB-IoT (Narrow Band IoT)の運用が開始され、更に普及が進むと見込まれる。
- 会社更生手続きを申請したOi社に関しては、債権者との交渉が継続中。具体的な対処については、2018年にずれ込む見通し。



## 2016年回顧

- ▶ インターネットユーザ数：1億3,911万ユーザ（世界第4位）
- ▶ ブロードバンドのマーケットシェア：NET32.0%、Vivo28.0%、OI24.0%
- ▶ ブロードバンドアクセス数：2672万（2016年11月）
- ▶ インターネット普及率は約66.4%（世界第64位）



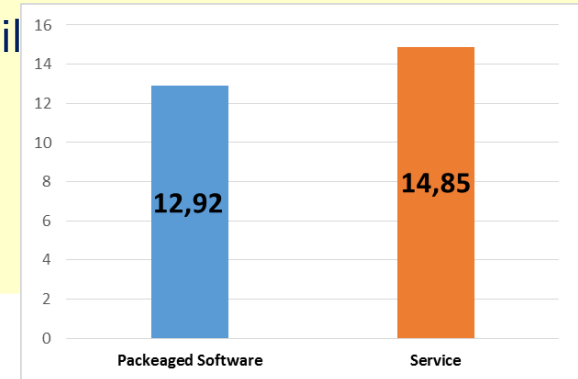
【出典】Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

## 2017年展望

- ▶ 個人のインターネット利用多角化に加え、ビジネスにおけるインターネット経由でのシステム利用が増加する等、引き続き利用者の増加が見込まれる。大都市中心部以外で高速化/安定化/低価格化が求められている。
- ▶ ハイスピード回線の提供が継続的に進むことが見込まれる。しかし、個人の動画サービス利用や、企業のサービス型システム利用等の大容量データ通信サービスの提供が進み、帯域の圧迫による回線安定性のさらなる低下が懸念される。

## 2016年回顧

- システムのサービス化に伴い、サーバやソフトウェアを一般企業が保有する形態ではなく、ベンダーが一元的に提供する傾向があった。
- MicrosoftによるWindows7,8.1からのWindows10への無料アップデート対応が終了。
- Windows Server 2016が発売開始され、ライセンス形態が大きく変更。
- 2016年のIT投資額はシステムのサービス型提供がUSD14.85bilに達し、パッケージソフトウェアのUSD12.92billionを上回る。サービスでの利用が広く普及した。



【出典】Statista HP <https://www.statista.com>

## 2017年展望

- Windows7,8.1,10を混在利用する企業が増加し、ソフトウェア導入等において対応確認事項が増加する見込み。
- コスト削減の目的で、サービス利用によるシステム更改の需要が高まる見通し。
- クラウドサービス市場は成長を続けており、2012年のUSD217millionから2017年にはUSD1.1billionに達することが予想される等、さらに多くの企業にて導入が進む見込み。

## 景気回復に向けて、いま為すべきことは？

### <為すべきことはなにか>

- ・ 最低限の機能を残した組織を維持し、品質・キャッシュフローの悪化を防ぎ景気回復を待つ。
- ・ 労働法改正、年金制度改革案の採用に期待する。
- ・ モバイルを活用した新たな商品やサービス等の開発による新市場の創出を行う。
- ・ 魅力的な商品を創出し需要喚起を行う。
- ・ ブラジルへの旅行者呼び込みのハードルとなっている、治安の安定化、ビザの簡略化要求を継続し行う。
- ・ 国際法にならって標準化を進めるように促していく。(税制簡素化、シスコセルビ等々)